

ティーチング・ステートメント

所属 商学科
名前 高崎 航也
作成日 2022/02/17

【責任】

私はIT屋としての本業をこなしつつ、情報系教員として、初年次IT教育、およびその延長の教育分野において『裾野を広げる』教育に従事する。具体的にはICTリテラシーおよびインターネットビジネス、情報システム開発研究を担当する

【理念】

私の理念は、「多種多様なITスキルや知見を駆使し、必要な解決策に辿り着ける実務者を育てる」ことである。

アフターコロナの情報化社会において、コミュニケーションやマネジメント業務でのICTスキルは重要性を増している。しかし、何をを用いるのが正解なのかは職種や業態によっても異なる正解は一つに定まらない。

大学卒業後に直面するであろう各企業での問題点とその解決策について、『即応できる能力は身につかずとも、ヒントとなるような知識や知恵、技術を大学時代に種として撒いておくことで、効率の良い学びを得られるようにすること』が未来に巣立つ学生さんに対する責任であると考えている。また、そのためにも学びとは気安いものであるという意識を持ってもらうことも、必要と考える。

【方針・方法】

方針1: 気安い学びの環境-「半学半教」

(方法論)

- 私は情報分野においては偶然先んずる知識が多く実務経験も有しているだけであり、それゆえに偉いわけではない。先生という呼称すら面映ゆい。講義をするものとしては丁寧な立ち居振る舞いを心掛けつつ、日常会話においては話しかけやすい雰囲気を作っていく。
- 比喩的表現はその世代の流行を採り入れつつ、壇上と席という立ち位置にならぬよう積極的に教室を回り話しかけ思考を促す方式を採用していきたい。
 - 於:ICTリテラシー1/2

方針2: 一つに定まらない解決策の提示

(方法論)

- IT技術は多岐に渡る。このため、特定の問題に対して様々なアプローチの方法が存在する。これらを学生さんが見つけ出せるよう、裾野を広げる教育を旨とする。
- 講義に必要な資料は、参考書籍よりWeb検索をした上で情報を取捨選択する方法を採用する。加えて学生さんには、教科書や参考書を購入することより、SaaSなどのサービスを契約して利用してみることにお金を使い、活かした経験として自身の糧とする
 - 於:情報システム開発研究/さくらインターネットにおけるVPS契約
- IT技術が非IT分野にも不可欠であるという認識を共有していく。具体的には時事問題や自身の経験とITを絡めた話を積極的に採り入れ、IT技術がどのように日常生活に入り込んでいるかを機会があるごとに学生さんと共有していく。
 - 於:インターネットビジネス
- IT分野においてはスクラッチ&ビルドとプロトタイピングが頻繁に行われる。こうした試行錯誤を是として事に臨むよう考え方を整えていく。

【成果・評価】

初年次必修科目においては90%の好意的評価、それ以外においては80%の好意的評価となっている。また、専門科目においては情報課職員に講義動画および講義資料を共有し、好意的評価を得ている。

【目標】

本学に存在する様々な枠組みの中にテストベッドという形でIT技術を投入し、マネージメントを活性化していく(2024年3月)

IT教育の中に、オンラインとオンデマンドを組み込み、更に一部の人にしか使えない技術から誰でも使える技術へと変化させていき職員や学生さんが気安くIT技術をわが物として使えるように学内スキルを底上げする(2024年3月)